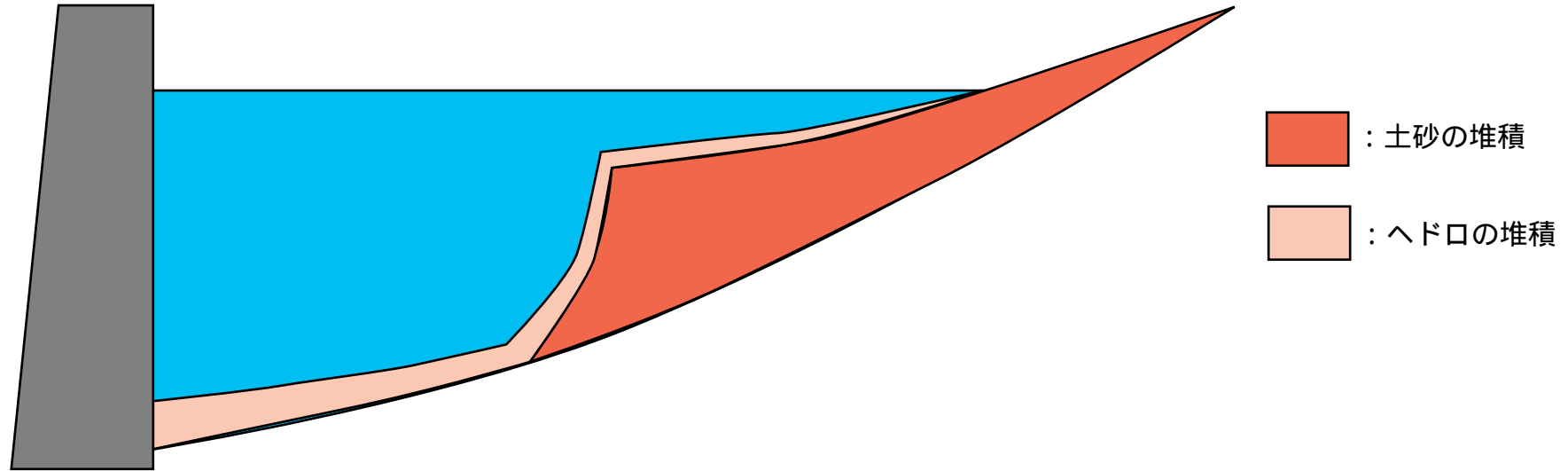


# ダム湖に堆積する土砂とヘドロ



ダム湖の堆積物：2つに分けることができる。一つ目はすぐに沈殿する土砂であり、二つ目は長期間水中を浮遊する微細粒子のヘドロである。これらは、上図のように別々に堆積する。

土砂：下図のように、ダム湖内に向かって段丘を形成して堆積する。その結果、ダムの貯水能力は低下し、ダムの機能が失われてくる。その一方で、土砂の堆積が河川上流に向かって果てしなく進行する。このような現象を背砂と呼んでいる。その結果、ダム湖上流部の河床は上昇し、その地域は水害常襲地となる。

ヘドロ：上図のようにダム湖底全体に層を成して堆積している。ヘドロは、微細な土砂粒子と嫌氣的に腐敗した有機質（落ち葉、枝片、倒木等）からなり、異臭を放ち、ほとんどの生物にとって有害である。洪水時、ダム湖底に堆積しているヘドロが巻き上げられと、ダム湖と下流域河川は長期間（条件によっては数ヶ月間）濁る。

## ダム湖に堆積する土砂の進行

